

2017年12月1日
日興アセットマネジメント株式会社



はまぎんニュージーランドドル債ファンド 2014-07(早期償還条項付)

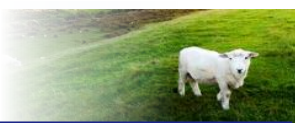
愛称: ミルク・ランド

設定来の運用状況のご報告

本資料では、当ファンドの設定来のパフォーマンスや騰落の要因分解などについて、ご紹介します。



設定来のパフォーマンスについて



- 当ファンドは、ニュージーランドドル建ての債券に投資を行ない、満期一致戦略で、債券収益の確保をめざしています。満期一致戦略とは、ファンドの満期償還日(信託期間終了日)と投資する債券の満期時期を一致させる投資手法で、債券取得時の最終利回りが、債券の発行通貨建てでのリターンとして期待できます。
- 当ファンドのパフォーマンスは、債券の利子収入は着実に獲得しているものの、為替市場で円高・ニュージーランドドル安が進んだことなどを背景に、10,000円を下回っています。

基準価額の推移

(円) (2014年7月14日(設定日)~2017年10月31日)



<分配金実績>

15年7月	16年7月	17年7月
0円	0円	40円

<基準価額>
(税引前分配金再投資ベース)
9,633円
(税引前分配金控除後)
9,595円
(2017年10月31日現在)

※基準価額は信託報酬(年率1.08%(税抜1%))控除後、分配金は税引前の1万口当たりの値です。
※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、日興アセットマネジメントが「はまぎんニュージーランドドル債ファンド 2014-07(早期償還条項付)／愛称:ミルク・ランド」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。

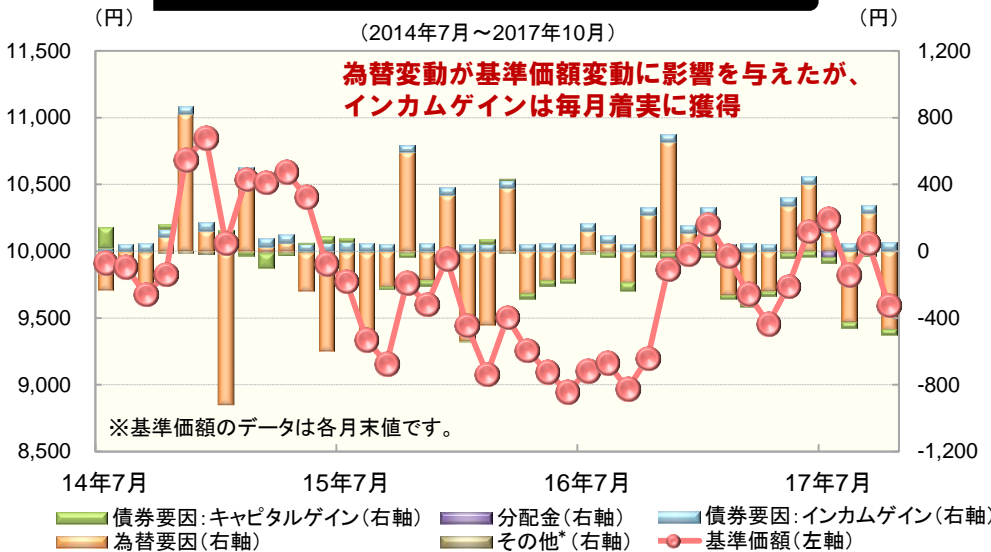
■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。



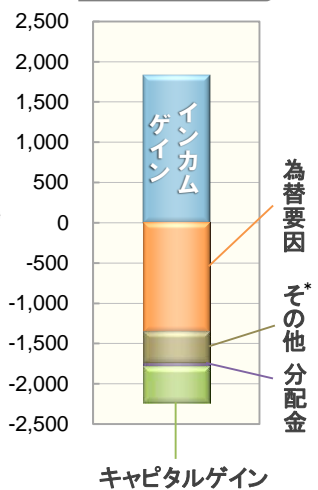
設定来の基準価額変動の要因について

- 設定日から2017年10月末までの基準価額変動の要因分解をみると、インカムゲインは毎月着実に獲得できたものの、為替変動が基準価額に大きく影響を与えていることが確認できます。
- 2017年10月末時点では、設定来で円高・ニュージーランドドル安が進んでおり、当ファンドのパフォーマンスを下押ししました。

パフォーマンスと騰落の要因分解



設定来

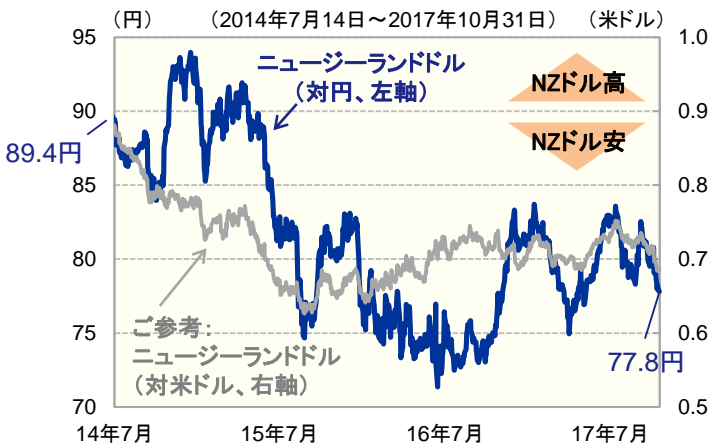


* 信託報酬に加え、債券要因・為替要因以外の基準価額変動要因が含まれます。

※上記の要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※基準価額は信託報酬(年率1.08%(税抜1%))控除後、分配金は税引前の1万口当たりの値です。

設定来のニュージーランドドルの推移



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

- 設定来のニュージーランドドルは、主要輸出品目である乳製品の価格が弱く推移したことなどから軟調な推移となりました。
- その後、反発する局面もあったものの、足元では、2017年9月の総選挙で与党・国民党が単独過半数議席を確保できず、政権交代となったことを背景として、経済政策への不透明感が高まり、軟調な推移となっています。
- 今後については、交渉の行方が注目されていたTPP11に、新政権が前向きな姿勢を見せたことや、相対的に高い金利水準や高い信用力、安定した経済を背景に、落ち着きを取り戻すことが期待されます。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが「はまぎんニュージーランドドル債ファンド 2014-07(早期償還条項付) / 愛称: ミルク・ランド」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めるために作成した資料です。

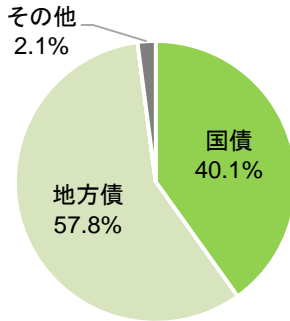
■ 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。



ポートフォリオの状況（2017年10月末時点）

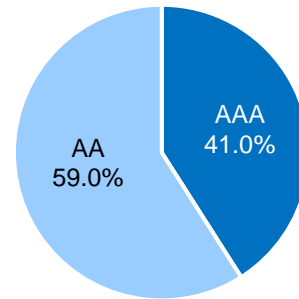


債券種別構成比率



※債券種別構成比率は対純資産総額の比率です。

債券格付別構成比率



※債券格付別構成比率は対組入債券評価額の比率です。

資産構成比

公社債	97.9%
現金その他	2.1%

※資産構成比は対純資産総額の比率です。

利回り

直接利回り	5.97%
最終利回り	1.86%

※各利回りは、将来得られる期待利回りを示すものではありません。

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。

今後とも当ファンドをご愛顧くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、日興アセットマネジメントが「はまぎんニュージージーランドドル債ファンド 2014-07(早期償還条項付)／愛称:ミルク・ランド」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。

■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。